

令和2年3月13日

## 令和2年3月10～11日の低気圧に伴う降雨による 釧路川の**出水概要（速報）**をお知らせします

令和2年3月10日～11日の低気圧に伴う降雨による釧路川の出水概要と、これまでの河川整備等の効果についてお知らせします。

令和2年3月10日から11日にかけて前線を伴った低気圧により大雨となり、また、気温が高く雪解けが急速に進んだことも相まって、釧路川において出水が発生しました。釧路川標茶水位観測所では、避難判断水位を大きく超過し、氾濫危険水位に迫る水位（戦後史上第3位）を観測しました。

この大雨により、釧路川では局所的な内水氾濫が発生しましたが、北海道開発局において広域的な応援体制を構築し、排水ポンプ車を派遣して内水排除を行うなど、浸水被害の拡大防止に努めました。

なお、釧路川では、これまで進めてきた河川整備によって水位の低減効果を発揮しました。これにより、今回の出水では、堤防決壊による氾濫等の甚大な被害は発生しませんでした。

※本速報に記載されている数値や図表は、令和2年3月13日現在の速報値であり、今後、変更となる可能性があります。

### 【問合せ先】

国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部

治水課 課長 池田 共実 電話：0154-24-7250（内線 3291）

治水課 流域計画官 若松 延幸 電話：0154-24-7250（内線 3288）

釧路開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/ks/>



# 令和2年3月10～11日の低気圧に伴う 降雨による釧路川の出水概要(速報版)

※本速報に記載されている数値や図表は、令和2年3月13日現在の速報値であり、今後、変更となる可能性があります。

令和2年3月13日  
国土交通省北海道開発局  
釧路開発建設部



「世界の北海道」を目指して  
—北海道総合開発計画—

# 令和2年3月11日 釧路川における出水概要

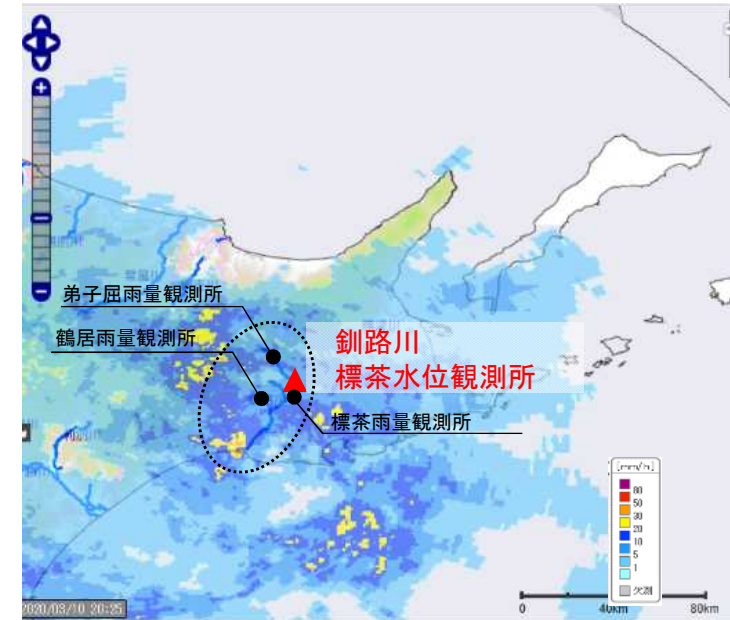
令和2年3月10日から11日にかけて、前線を伴った低気圧が北海道付近を通過し、釧路川の流域では大雨となりました。24時間の降水量(3月10日9時～3月11日8時)は、鶴居で93mm、弟子屈で76mm、標茶で64mmを観測しました。

大雨に加えて、気温が高く雪解けが急速に進んだことも相まって、釧路川標茶水位観測所では避難判断水位を大きく超過し、氾濫危険水位に迫る水位(戦後史上第3位)を観測しました。

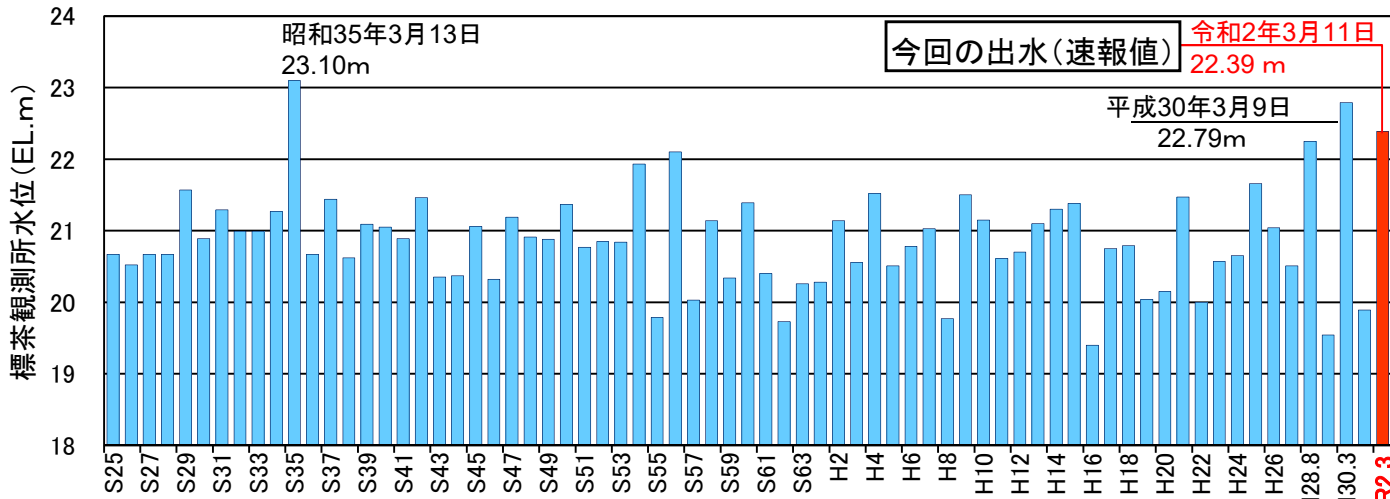
この大雨により、釧路川では局所的な内水氾濫が発生しましたが、北海道開発局において広域的な応援体制を構築し、排水ポンプ車5台を派遣して内水排除を行うなど、浸水被害の拡大防止に努めました。

なお、釧路川では、これまで進めてきた河川整備によって水位の低減効果を発揮しました。これにより、今回の出水では、堤防決壊による氾濫等の甚大な被害は発生しませんでした。

※速報値のため、数値等は変わる可能性があります



3月10日 20時25分 レーダ雨量 (国土交通省)



釧路川(標茶水位観測所) 年最大水位

H15以前は測地2000標高(m)に換算

釧路川水系 釧路川右岸 46.1kp



標茶水位観測所(KP46.1付近)の状況  
令和2年3月11日 6時30分 最高水位時

# 釧路川の出水状況・浸水状況

釧路川流域では、令和2年3月10日から11日にかけて大雨となり、また、気温が高く雪解けが急速に進んだことも相まって、釧路川の標茶水位観測所では避難判断水位を大きく超過し、氾濫危険水位に迫る水位を観測しました。また、新釧路川・オソベツ川の水位観測所4箇所（広里、鳥取、岩保木、下オソベツ水位観測所）において、氾濫注意水位を超過しました。

今回の降雨により、釧路川では堤防決壊等による外水氾濫は生じておりませんが、局所的に内水氾濫が発生しました。

## 釧路川の浸水状況(標茶町付近)

① 釧路川の増水に伴う内水氾濫  
（標茶町下オソベツ）



② 釧路川の増水に伴う内水氾濫  
（標茶町ルルラン）



## 標茶町の避難勧告や避難指示の状況

避難勧告や避難指示による避難対象者	1,186世帯 2,410人
-------------------	-------------------

※避難対象者数は、標茶町の速報値情報をもとに算出しています。  
※避難勧告や避難指示の発令期間：  
令和2年3月11日5時5分～11時55分

内水氾濫による浸水範囲

洪水予報と水位の関係  
（標茶観測所）

氾濫危険水位: 22.50m

(河川が氾濫するおそれのある水位)

今回の出水で観測した水位:  
22.39m (R2.3.11)

避難判断水位: 21.80m

(避難情報発表の目安となる水位)

氾濫注意水位: 20.80m

(河川の氾濫の発生を注意する水位)

水防団待機水位: 20.10m

(水防団が待機する目安となる水位)

③ 釧路川の状況 (標茶町ときわ橋)



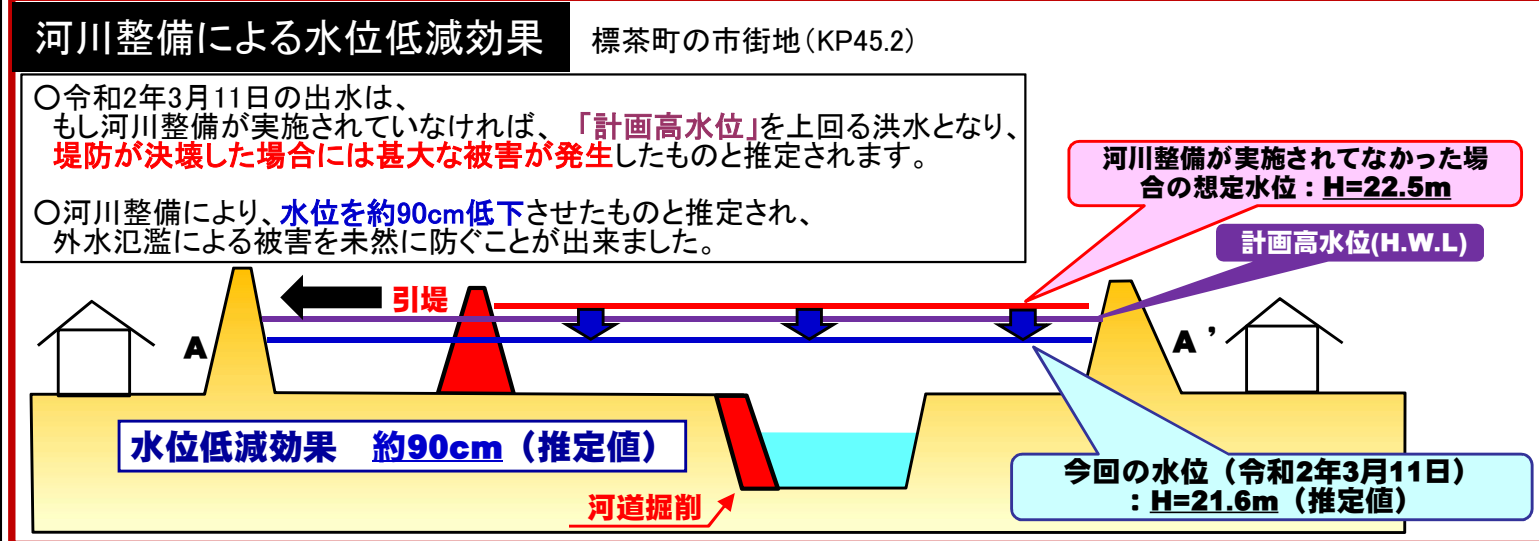
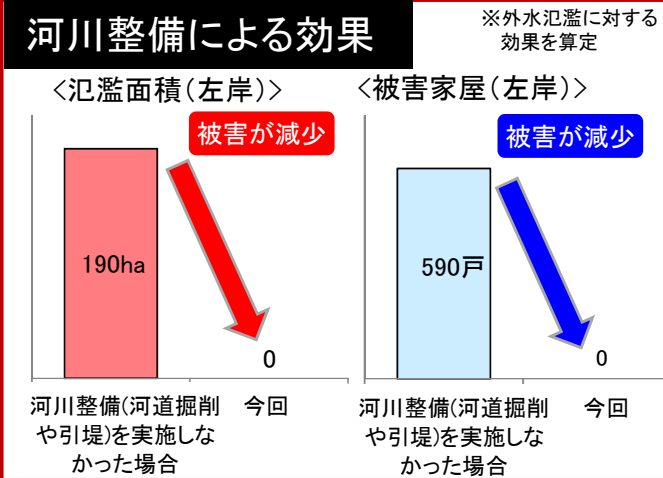
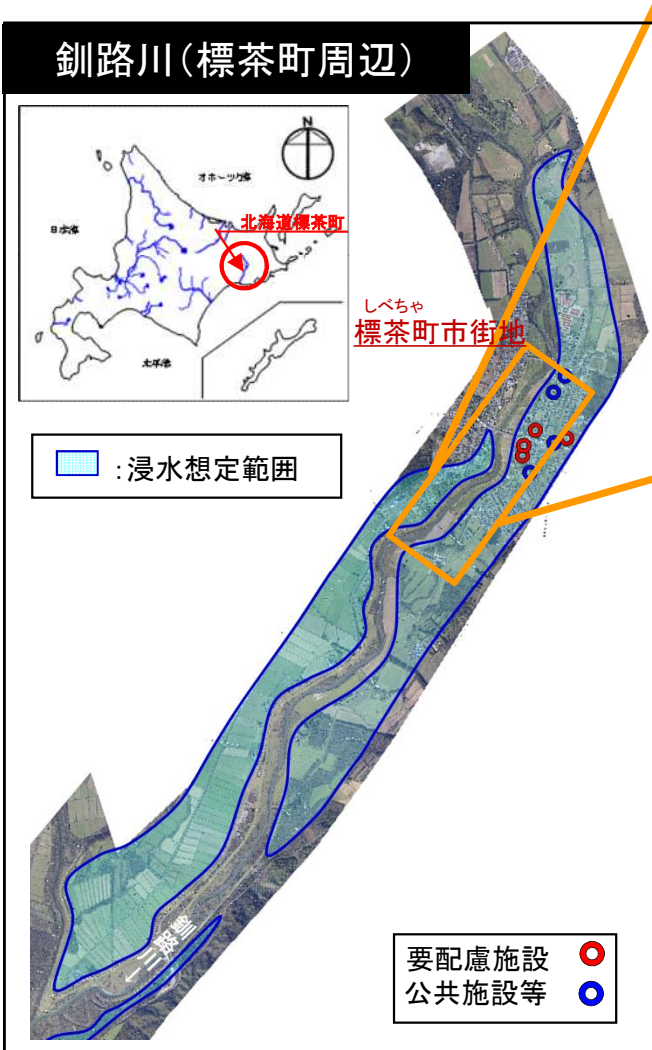
④ 釧路川の増水に伴う内水氾濫  
（標茶町旭）



# 令和2年3月11日の出水に対して河川整備が水位の低減効果を発揮

令和2年3月11日の出水では、もし河川整備が実施されていないならば、<sup>しべちや</sup>標茶町の市街地（KP45.2）において計画高水位を上回る洪水となり、堤防が決壊した場合には、約190ha、約590戸の浸水被害が発生していた可能性があります。

これまで実施してきた河道掘削や引堤（川の断面を広くするため堤防を引く）などにより、標茶町の市街地では、河川整備前と比べて水位を約90cm低下させたものと推定され、外水氾濫による被害を未然に防ぐことが出来ました。



※1:速報のため、数値等は変わる可能性があります。  
 ※2:計画高水位とは、河川管理上の基準とする水位であり、目標とする洪水をこの水位以下で安全に流下させることが出来るようにする河川整備や、橋梁などの許可工作物設置に際しての基準となるものです。  
 ※3:整備前の水位ならびに今回の水位については、A-A'断面における水位を推定したものとします。

# 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」が水位の低減効果を発揮

釧路川においては、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」として、河道掘削や樹木伐採を実施中です。令和2年3月11日の出水では、もしこれらの対策が実施されていなければ、**標茶町市街地の下流部 (KP40.8)**において、計画高水位に迫る洪水となっていた可能性があります。

「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」により、**標茶町市街地の下流部**においては、**水位を約50cm低下させたものと推定され、外水氾濫による被害を未然に防ぐことが出来ました。**

## 防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策 釧路川(標茶町周辺)



しべちや  
標茶町市街地

要配慮施設 ○  
公共施設等 ●

■ : 浸水想定範囲

河道掘削や  
樹木伐採



### 対策による水位低減効果

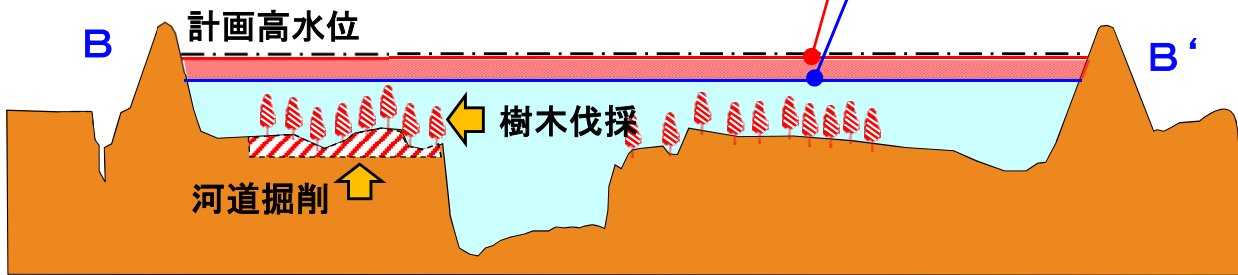
標茶町市街地の下流部 (KP40.8)

- 令和2年3月11日の出水は、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」がなければ、「**計画高水位**」に迫る洪水となっていた可能性があります。
- 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」によって、**水位を約50cm低下させたものと推定され、外水氾濫による被害を未然に防ぐことが出来ました。**

対策が行われなかった場合の  
想定水位  $H=18.5m$

今回の水位  
 $H=18.0m$ (推定値)

水位低減効果  
約50cm(推定値)



※1:速報のため、数値等は変わる可能性があります。  
 ※2:計画高水位とは、河川管理上の基準とする水位であり、目標とする洪水をこの水位以下で安全に流下させることが出来るようになる河川整備や、橋梁などの許可工作物設置に際しての基準となるものです。  
 ※3:整備前の水位ならびに今回の水位については、B-B'断面における水位を推定したものととなります。

# 釧路開発建設部の取組

釧路開発建設部では、昼夜を問わずパトロール等による河川情報の収集や樋門等の河川管理施設の点検を行い、被害状況の早期発見に努めました。

標茶町<sup>しべちや</sup>へ現地情報連絡員(リエゾン)を派遣いたしました。また、釧路開発建設部に加えて、網走・帯広・室蘭の各開発建設部による応援体制を構築し、排水ポンプ車5台を標茶町へ派遣するなどにより、浸水排除を実施しました。

また、釧路川外減災対策協議会による情報共有や標茶地区水防災タイムライン(H29～)等の取組により、標茶町長とのホットラインや水位予測情報の提供などがスムーズに行われ、被害の拡大防止に努めました。



切迫した状況の中でのリエゾンによる情報収集(標茶町役場)



河川管理施設の点検(標茶町開運橋)



排水ポンプ車による内水排除活動(下オソベツ樋門)



照明車の活動による夜間の排水活動(下オソベツ樋門)